

サクラを楽しんで

長住武美さんがサクラを寄贈



サクラの開花が楽しみ



長住さん（左）から景山町長に目録が手渡される

昨年11月、日本を代表する技能者に送られる、2012年度植木職・造園工等の部門の『現代の名工』に選ばれた、長住武美さん（高尾）が、中学校同期有志から祝ってもらったお礼にと、中菅にある滝山公園駐車場のトイレ付近にサクラの木1本を植樹。5月19日に、日野町へ寄贈しました。

植樹したのはおよそ6年ものオオヤマザクラで、高さは4メートル。滝山公園のサクラは、ソメイヨシノと八重桜しかなく、同種はこの木1本しかないそう。

長住さんは「サクラが咲く春は、新年度が始まるスタートの季節であり、また寒い冬を越え、春が来る喜びを感じる季節です。このサクラを多くの皆さんに長く見たいのでいただきたい。またこの木は非常に長生きしますので、次世代に木を引き継いでもらいたい」と、話しました。

開花時期は、ソメイヨシノと八重桜の間くらいで、花は白に近いピンク色をしているそうです。来年の春が楽しみです。

美しさにうっとり

さつきまつりが開かれる



愛好家がサツキの手入れを実演



来場者の交流が深まる

町内の愛好家らが丹精込めて育てたサツキや盆栽を一堂に展示する、第41回日野町さつきまつりが、6月11日から13日までの3日間、山村開発センターで開かれ、来場者を楽しませました。

出展されたサツキと盆栽はおよそ60点。会場にとろせましと展示された見事なサツキの咲き具合や枝ぶりを見ようと町内外から300人が訪れ、にぎやかな3日間となりました。赤や白、ピンクなど華やかで、1本の木でも赤や白が混ざるなど、来場者を魅了。「美しい」「わあきれい」など、来場者は感心した様子で、笑顔で会場を後にしていました。

また、会場では来場者に山野草などがプレゼントされる抽選会も行われ、盛り上がりしました。何十年も育てられた大きなサツキが当たった来場者は「うれしい、どこに飾ろうか迷ってしまう。来年もきれいな花が咲くように大切に育てたい」と、笑顔で話しました。

■受賞者（最優秀賞のみ掲載）

サツキの部Ⅱ【銘木の部】谷口俊典さん（中菅）

盆栽の部Ⅱ中田将さん（金持）



サクランボに夢中で汗びっしょり



真っ赤な実到手を伸ばす

まさに、赤い宝石
久住でサクランボ狩り

6月13日、久住にあるサクランボ園で、子育て支援室おひさまひろばの親子とボランティア、日翔会の介護施設に入所や通っている皆さんが招待され、サクランボ狩りが開かれました。

これは、同園を管理している稲田組が企画。佐藤錦を中心に6種類のサクランボが植えられた園内では、日差しを浴びて真っ赤に色づいた大きなサクランボがちょうど食べごろを迎えていました。

同園を管理する稲田組の稲田耕さんは「春に花が見事に咲きました。たわわに実ると期待していましたが、交配に課題があるのか、思ったより少なかったですね。でも、雨が少なく、日光が良く当たり甘さは十分です。ゆっくり楽しんでほしい」と歓迎しました。

参加者らは、真っ赤なサクランボを口に含み「あま〜い、町内でサクランボ狩りができるなんて」「サクランボが大好きなので、とてもうれしいです。本当においしい」と、満面の笑み。子どもたちも汗びっしょりになりながら、夢中で小さな口いっぱいにはおぼり、味わっていました。



児童、保護者、教員が見守る中、住田会長（右）に表彰状が手渡される

ツツジの植樹など、長年の活動が認められる
黒坂小学校PTAが、県美しい森づくり功労者知事表彰受賞

黒坂小学校PTAが、ツツジの名所として知られている滝山公園（中菅）で毎年行っているツツジの植樹活動が認められ、鳥取県美しい森づくり功労者知事表彰を受けました。

6月13日、黒坂小学校参観日に合わせて行われた伝達式では、児童や教員、保護者が見守る中、景山町長から同PTAの住田真一会長へ表彰状が手渡されました。

受賞を喜ぶ住田会長は「私が受け取りましたが、これまで続けてこられた黒坂小学校みんなの活動が誉められたもの。本当にうれしい。励みになります」と話しました。

今年度も、ツツジの植樹と木の周りの草取りを予定しているそうです。引き続き、今後の活動が期待されます。